

シリーズ No.6 ～みはるのキラ人～

「みはるのキラ人」と題して、三春町で活躍されている方をシリーズで紹介していきます。
第6弾は、令和7年3月田村高等学校卒業の三春町出身のお二人にインタビューしました。

羽ばたくとき



田村高等学校
3年生(当時)
よぎあし まな
過足 愛菜さん

① 高校生活での思い出は

3年間、陸上部のマネージャーとして活動していました。毎日朝が早かったり夏休みは合宿があったり、大変な事も多かったです。しかし、毎日の部活のおかげで楽しく充実していました。

② 進路については

4年生大学 食物栄養学科です。

③ これからの夢は

食を通して、人を助けたり笑顔にしたりできるような管理栄養士になりたいです。

④ 町に望むことは

小学校の合併の予定があり、若い人の数が減っていると思います。三春に残る選択をしてもらえるようにしてほしいです。子育てしやすい環境や、三春町の魅力を再確認できるような機会があったら、若い人が増えにぎやかな町になると思います。



田村高等学校
3年生(当時)
こくぶん ひろや
國分 紘也さん

① 高校生活での思い出は

野球部主将として頑張りました。大変だとかつらいと思う時のほうが多かったです。その中でも試合に勝ったときや、練習をした成果が出て良い結果に結びついたときは、やってきて良かったと思えました。特に、最後の夏の大会で選手宣誓させていただいたことは、とても貴重な体験になりました。

② 進路については

大学 リハビリテーション学部・理学療法士

③ これからの夢は

自分がケガに悩まされてきたので、同じアスリートでケガに悩んでいる方々を支えていくことができれば良いと考えています。

④ 町に望むことは

今、日本全体で、スポーツ人口が減ってきている現状です。三春町も部活動やスポーツ少年団などの参加人数が少なくなり、なくなってしまうところもあると思います。スポーツ施設をもつと増やしたり、環境の整備をしたりしてスポーツができる場所を増やしてほしいです。

今月の表紙

ご入園おめでとう
ございます。

緊張と喜びのスタート。輝く笑顔と新しい一歩を応援します。

歩く道が希望でいっぱいありますように。

(大内広信)



広報広聴常任委員会

委員長／山崎ふじ子 副委員長／篠崎聡
委員／影山孝男 三瓶一壽 大内広信 遠藤亮子 鈴木利一

